

新年度がスタートしました。

気持ちを切り替えがたい状況が続いていますが、皆様におかれましても、すこし先の穏やかな未来を見据えて、どうぞ健やかに過ごしていただければと思います。

今年度も一年よろしく願いいたします。

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」第104号をお届けします。

当メールマガジンは、ご登録いただいた皆様に加え、名刺交換をさせていただいた方にもお送りしております。新着情報も多数ございますので、公文協ご担当者様におかれましては、ぜひご所属団体、施設内で情報共有をいただけますと幸いです。

※本メールマガジンのメールアドレスは配信専用です。

このメッセージに返信しないようお願い致します。

----- 目次 -----

【1】 全国公文協からのお知らせ：

新型コロナウイルス関連

新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応（文化庁）／

緊急調査 ご協力をお願い／

新型コロナウイルスに関し、公文協から総務省に要請／

令和2年度総会・研究大会及び理事会・専門委員会／

公文協歌舞伎 中止のお知らせ／年会費のお知らせ／

2020年度文化庁事業受託のお知らせ／

2019年度文化庁委託事業 報告書・ガイドブックを公開

【2】 ピックアップ：

ニッセイ・バックステージ賞 候補者募集

【3】 〈連載コラム〉 今からでも間に合う！

個別施設計画の策定と施設の長寿命化

【4】 助成等に関する情報

【1】 全国公文協からのお知らせ

|||| 新型コロナウイルス関連 ||||

★新型コロナウイルスに関連した
感染症対策に関する対応について（文化庁）

新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関して、
文化芸術関係者への支援策を含めた
緊急経済対策が発表されています。

刻々と状況は変化していきますので、
以下のウェブサイト等を参照し、
随時、新しい情報のご確認をお願いいたします。

▼ 詳細は以下のウェブサイトをご覧ください ▼

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/20200206.html

★新型コロナウイルス 緊急調査
～ご協力のお願～

全国公文協では、
加盟会員に向けた調査を WEB を通じて行います。
お忙しい中恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

回答締切：4月26日（日）

調査内容：

- ・施設閉館について（閉館の有無、要請の有無、補填、職員等の体制）
- ・国の支援策について（感染予防等事業、指定管理への通達等）
- ・ご意見等

▼ お問い合わせは全国公文協まで ▼

TEL：03-5565-3030

E-mail：kishi-XXX-@zenkoubun.jp（※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。）

担当：岸

=====

★新型コロナウイルスに関連し

公文協から総務省に要請を行いました

=====

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、
公立文化施設の事業中止が続いています。
当協会はこれに伴う損失補填等に関し、3月27日に
指定管理者制度を所管する総務省に対して要請をいたしました。

▼ 要請文はこちらをご覧ください ▼

https://www.zenkoubun.jp/info/2020/pdf/0331covid_19.pdf

総務省には速やかに対応していただき、
同日、指定管理者制度の運用の留意点に関する事務連絡が
自治体向けに発出されました。

▼ 総務省からの連絡文書はこちらをご覧ください ▼

<https://www.zenkoubun.jp/info/2020/pdf/0331contact.pdf>

=====

令和2（2020）年度 定時総会・研究大会（愛知大会）
及び第1回理事会・専門委員会 の開催について

=====

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出されている
状況を鑑み、以下の案件について対応方法を検討しております。

5月19日（火） 専門委員会（常設部会・特別部会・全体会）
理事会

6月4日（木）～5日（金） 定時総会・研究大会（愛知大会）

そのため、定時総会・研究大会については
予定しておりました開催通知及び募集開始を見合わせております。
参加をご検討いただいている皆様には
ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんが
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、最終的な決定につきましては
確定次第、公文協ウェブサイト等でご案内をさせていただきます。
ご心配をおかけいたしますが、今しばらくお待ちください。

=====

★公文協歌舞伎 中止のお知らせ

=====

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、
全国公立文化施設協会主催「松竹大歌舞伎」は、
4月に開催を予定しておりました西コース、
5月に開催を予定しておりました東コースの公演とも、
誠に残念ながらすべて中止となりました。

なお、9月の中央コースについては実施予定ですが、
今後の状況により変更となる場合もございます。
なにとぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

=====

★令和2年度 年会費のお知らせ〈再掲載〉

=====

4月1日付で令和2年度年会費の請求書を郵送しました。
会費は昨年度までと同額で、
ご入金は4月30日(火)までとなっております。
期日までに納入いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

=====

★2020年度文化庁事業受託のお知らせ

=====

2020年度「障害者による文化芸術活動推進事業
(文化芸術による共生社会の推進を含む)」を受託しました。
今年度は障害者による文化芸術活動の推進に向けた
劇場・音楽堂等の取り組みに対する調査を実施いたします。

最新情報は公文協ホームページでお知らせいたします。

=====

★2019 年度文化庁委託事業

報告書・ガイドブックを公開しました

=====

公文協ウェブサイトにて平成 31（2019）年度文化庁委託事業の

報告書・ガイドブックをアップしています。

事業ごとの詳細も個別の事業ページに公開しておりますので、ぜひご覧ください。

◇報告書

劇場・音楽堂等基盤整備事業

URL : https://www.zenkoubun.jp/info/2020/0402_h31kiban.html

障害者による文化芸術活動推進事業（文化芸術による共生社会の推進を含む）

「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」

URL : https://www.zenkoubun.jp/barrier_free/relation/pdf/r01_project.pdf

◇ガイドブック

『劇場・音楽堂等アクセシビリティ・ガイドブック』

URL : https://www.zenkoubun.jp/publication/pdf/afca/r02/r02_accessibility.pdf

【2】ピックアップ

=====

★第 26 回ニッセイ・バックステージ賞

～候補者募集のお知らせ～（4 月 30 日締切）

=====

（公財）ニッセイ文化振興財団は、舞台芸術を裏から支え、
優れた業績を挙げている舞台技術者＝「裏方さん、職人さん」を顕彰する
「ニッセイ・バックステージ賞」を運営しています。

本年、第 26 回の表彰候補者を公募しています。（4 月 30 日締切）

舞台づくりに貢献し、優れた業績を挙げておられる候補者の方を
この機会に是非ご推薦ください。

▼ お問い合わせは（公財）ニッセイ文化振興財団まで ▼

<https://www.nissaytheatre.or.jp/outline/business.html#nba>

TEL : 03-3503-3115 FAX : 03-3581-3493

担当：藤森・重松

【3】連載コラム：今からでも間に合う！

個別施設計画の策定と施設の長寿命化

2019年10月、全国公文協は文化施設の個別施設計画についてその趣旨や目的、策定事例を伝えて推進を促す「個別施設計画策定推進シンポジウム」を開催しました。

本連載では、同シンポジウムの内容を3回に分けてご紹介しています。今回は山本康友氏（東京都立大学 都市環境学部 客員教授）による講演「劇場・音楽堂等の個別施設改修計画の考え方」の要旨をお届けします。

■□■ 第2回 劇場・音楽堂等の個別施設改修計画の考え方 ■□■

大規模改修の点検サイクルを踏まえ、長寿命化や安全性、コストを比較しながら30年～50年の計画を立てるのが、個別施設計画です。この計画を立てるときは、建物の劣化状況や施設の使用する期間等から考える必要があります。劣化状況の把握については、建築基準法第12条関連の報告書を活用することも考えられます。あるいは、建築後の年数や設備機器の設置年数から判断することもあります。対策費用は、総務省ソフトから概算の目安が立てられます。

具体的には、設備機器類や躯体の状況、維持管理の履歴などの現状を把握し、施設の位置付けも考えた上で、最小の予算で最大の効果を得られるよう長寿命化を計るか、建替をするかなどを検討します。

建物の物理的な耐用年数は、鉄筋コンクリート造では、コンクリートなどの劣化状況で判断します。耐用年数は、一般的には、建築後40～80年ほどですが、コンクリートの中性化の進行状況やコンクリート強度によっても判断が異なります。

建物の耐久性を確保するには、表面の塗装やひび割れを早めに補修することなどを行うことが大切です。小さなひび割れであっても、そのまま放置しておくと、そこから、いつしか水と空気が入ることによって鉄筋が錆びて、それが進むと、コンクリートの破壊にまでつながることがあります。それを防止するには、ひび割れが起きた初期の段階での補修が大事です。その結果、劣化が進んでからの補修に比べて、コストが安くなるなどのメリットがあります。

公共施設は、往々にして、劣化の大きい、建築後年数が経過した建物から補修を優先することが多いです。その場合、劣化が進んでいることが多いため、比較的、コストが掛かります。そこに費用が取られると、他の施設への投資ができに

くくなります。特に、建築後年数が長く、ほとんど補修に投資が行われていない公共建築物については、その建物を残すのか、残さないかの判断にまでなってしまう。それを防ぐには、30～40年の時期に、大規模改修を行う必要があります。

また、新規建物については、最初から、ある一定の時期に、予防保全（時間基準保全と状態基準保全）と事後保全を組み合わせた補修を行っていくことが重要です。それに加えて、ホールとしての機能アップも必要ならば、その要素も繰り入れていかねばなりません。

*全文は以下のPDFで読むことができます（P.8～）。

▼ 「個別施設計画策定推進シンポジウム 報告書」はこちらから ▼
https://www.zenkoubun.jp/support/pdf/20191003_plan_report.pdf

【4】 助成等に関する情報

現在募集中の助成・活動支援等に関する情報を紹介します。

そのほか締切まで期間のあるものは公文協ウェブサイトにも掲載しております。
あわせてご覧ください。

<https://www.zenkoubun.jp/support/grant/index.html>

★☆☆ 助成情報【採択結果】 ★☆☆

=====
★文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
採択事業 発表
=====

令和2年度「文化芸術創造拠点形成事業」の採択事業が発表されました。

▼ 詳細は、文化庁のウェブサイトをご覧ください ▼
<https://www.chiikiglocal.go.jp/results/index.html>

=====

★文化庁 芸術文化振興基金及び
文化芸術振興費補助金による助成対象活動の決定

=====

令和2年度芸術文化振興基金及び文化芸術振興費補助金による
助成対象活動が決定しました。

特に、劇場・音楽堂等に関連するものとして
芸術文化振興基金の対象では、
「文化施設講演・展示活動：文化会館公演」、
文化芸術振興費補助金の対象では、
「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の採択一覧が公開されています。

▼ 詳細は、芸術文化振興会のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://www.ntj.jac.go.jp/topics/kikin/2019/21032.html>

★★★ 助成情報【 新規掲載 】 ★★★

=====

★サントリー芸術財団 助成
ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金（7月10日締切）

=====

日本の音楽文化を活性化し、＜被災地＞または＜日本全体＞に
活力を与え続けていきたいという願いにもとづいて、
日本国内で行われるクラシック音楽を主体とする
演奏活動、音楽普及活動等に助成が行われます。

▼ 詳細は、サントリー財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://www.suntory.co.jp/sfa/fund/prayer/index.html>

=====

★エネルギー文化・スポーツ財団 助成
(5月1日受付開始、6月20日締切)

=====

中国地域にある文化に関する団体（公益法人・地方公共団体を含む）が主催し、中国地域内において行われる、以下の活動に対して助成が行われます。

音楽分野では、創造・普及・育成につながる音楽の公演活動、
伝統文化では、地元固有の伝統文化の保存・伝承・復活・復元
および発表活動が対象です。

原則として、中国地域在住者が過半数を占めるものが対象ですが、
全国規模、西日本規模の活動は、これに限りません。

▼ 詳細は、エネルギー文化・スポーツ財団のウェブサイトをご覧ください ▼
<http://www.gr.energia.co.jp/bunspo/index.html>

★☆☆ 助成情報【再掲載】 ★☆☆

=====

★野村財団 音楽部門 2020年下半期 助成
(4月17日締切)

=====

若手芸術家の育成および芸術文化の国際交流を目的とする活動に助成されます。

▼ 詳細は、野村財団のウェブサイトをご覧ください ▼
<https://www.nomurafoundation.or.jp/category/culture>

★☆☆ 助成情報【その他】 ★☆☆

地域限定の情報ですが、ご参考までに掲載します。

=====

★アーツカウンシル東京 Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成
地域文化活動支援 (5月31日まで随時受付)

=====

区市町村または外郭団体が主体的に実施する文化事業のうち、
東京都内で実施される、地域の文化団体が参加する事業に支援されます。

▼ 詳細は、アーツカウンシル東京のウェブサイトをご覧ください ▼
<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/cultural-program-grant-program/37288/>

★★★ 編集後記 ★★★

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」2020年度第1号
(通巻第104号)を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

今後、全国公文協 メールマガジン「情報フォーラム」で
取り上げてほしい内容や、「会員等からのお知らせ」で告知したいこと、
他館に質問したいこと、共有したい情報などがありましたら、ぜひ情報をお寄せください。
この場が皆様の情報交換の場として活用されることを期待しています。

また、本メールマガジンは、どなたでもご購読いただけます。

(申込先：<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>)

劇場・音楽堂等の運営に携わっている方やご興味をおもちの方に、
ぜひ、本メールマガジンをご案内ください。

▼ ご意見・ご感想、各種ご連絡・お問い合わせはこちらまで ▼

E-mail：bunka-XXX@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

▼ メールマガ配信のお申込みはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>

▼ メールマガ配信先アドレスの変更はこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/form/change.html>

▼ メールマガ配信停止の手続きはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/form/cancel.html>

◎公演企画 Navi⇒ <http://kouenkikaku.jp/>

◎公文協公演情報&TICKETS⇒ <https://stg1907.zenkoubun.kouticket.jp/>

◇◇ 公益社団法人 全国公立文化施設協会 ◇◇

〒104-0061

東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4 階

TEL：03-5565-3030 FAX：03-5565-3050

E-mail：bunka-XXX@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

URL：<https://www.zenkoubun.jp>
